

3月22日(月)、『デジタル化・DX実践講座』第0回ワークショップを開催しました。これは、令和3年度から、福井大学と福井大学同窓経営者の会の協働でリカレント教育『デジタル化・DX実践講座』を開催するにあたり、事前に課題解決テーマを決めるためのワークショップです。

講師を務める本会会員企業の永和システムマネジメント株式会社の羽根田 洋氏から『クラウドツールとデジタル化／DXの関係』の概略説明があった後、参加者21人が2グループに分かれ、羽田氏と福井大学工学部長の福井一俊氏がファシリテータとなり、ディスカッションが開始されました。



各グループで、各自の業務の現状や課題等を付せん紙に書き出し、同種の課題や、違う業種の課題を共有しながらディスカッションし、途中でメンバーの入れ替えをして課題が収集されていきました。終始、参加者全員が関連に発言して盛り上がりを見せていました。



ディスカッション後に、ファシリテータが2グループの課題をまとめて、IT、クラウドで解決したい現場課題を「重複入力をなくす」に決定し、これをテーマとした『デジタル化・DX実践講座』により、実践的な学びにしていくことが案内されて閉会しました。

今回のワークショップにご参加の皆様、ありがとうございました。

福井大学同窓経営者の会の会員企業の皆様には、今春から10回シリーズで開催する『デジタル化・DX実践講座』に、是非、ご参加いただき、御社の課題解決・業務の効率化に役立ててくださいますようお願いいたします。